【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2017-50641(P2017-50641A)
【公開日】平成29年3月9日(2017.3.9)
【年通号数】公開・登録公報2017-010
【出願番号】特願2015-171106(P2015-171106)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/32　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　3/42　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/274　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/32　Ｆ
Ｈ０４Ｎ　1/00　Ｃ
Ｈ０４Ｍ　3/42　Ｚ
Ｈ０４Ｍ　1/274

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月21日(2018.9.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
送信指示された宛先へデータを送信するデータ送信サーバを含む情報処理システムであって、
前記宛先にデータを送信した日時を含む通信履歴を管理する通信履歴管理手段と、
前記データを送信した日時から所定の日時が経過したか否かを判定する判定手段と、
前記宛先に対して、前記判定した結果を表示制御する表示制御手段と
を備えることを特徴とする情報処理システム。
【請求項２】
前記宛先に対して、前記通信履歴管理手段に前記宛先にデータを送信した通信履歴がない場合は、前記通信履歴管理手段に前記宛先にデータを送信した通信履歴がない旨を更に表示制御することを特徴とする請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項３】
前記宛先に対して、前記データを送信した日時から所定の日時が経過したと判定された場合に、前記宛先に対して送信する／しないの選択項目を更に表示制御することを特徴とする請求項１または２に記載の情報処理システム。
【請求項４】
前記宛先に対して、前記通信履歴管理手段に前記宛先にデータを送信した通信履歴がない場合は、前記宛先に対して送信する／しないの選択項目を更に表示制御することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の情報処理システム。
【請求項５】
前記宛先はアドレス帳に登録されており、
前記表示制御手段は、前記アドレス帳に登録された宛先に対して、前記判定した結果を表示制御することを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の情報処理システム

。
【請求項６】
前記宛先はアドレス帳に登録されており、
前記表示制御手段は、前記アドレス帳に登録された宛先に対して、前記通信履歴管理手段に前記宛先にデータを送信した通信履歴がない場合は、前記通信履歴管理手段に前記宛先にデータを送信した通信履歴がない旨を更に表示制御することを特徴とする請求項１乃至５のいずれか１項に記載の情報処理システム。
【請求項７】
送信指示された宛先へデータを送信するデータ送信サーバであって、
前記宛先にデータを送信した日時を含む通信履歴を管理する通信履歴管理手段と、
前記データを送信した日時から所定の日時が経過したか否かを判定する判定手段と、
前記宛先に対して、前記判定した結果を表示制御する表示制御手段と
を備えることを特徴とするデータ送信サーバ。
【請求項８】
送信指示された宛先へデータを送信する送信サーバを含む情報処理システムの制御方法であって、
前記宛先にデータを送信した日時を含む通信履歴を管理する通信履歴管理ステップと、
前記データを送信した日時から所定の日時が経過したか否かを判定する判定ステップと、
前記宛先に対して、前記判定した結果を表示制御する表示制御ステップと
を備えることを特徴とする情報処理システムの制御方法。
【請求項９】
送信指示された宛先へデータを送信する送信サーバを含む情報処理システムで読み取り可能なプログラムであって、
前記情報処理システムを、
前記宛先にデータを送信した日時を含む通信履歴を管理する通信履歴管理手段と、
前記データを送信した日時から所定の日時が経過したか否かを判定する判定手段と、
前記宛先に対して、前記判定した結果を表示制御する表示制御手段
として機能させるためのプログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
そこで、本発明では、データを送信する送信先を選択するときに、過去の通信履歴を考慮して送信先の選択か可能となる通信システムを提供することを目的とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
送信指示された宛先へデータを送信するデータ送信サーバを含む情報処理システムであって、前記宛先にデータを送信した日時を含む通信履歴を管理する通信履歴管理手段と、前記データを送信した日時から所定の日時が経過したか否かを判定する判定手段と、前記宛先に対して、前記判定した結果を表示制御する表示制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明によれば、データを送信する送信先を選択するときに、過去の通信履歴を考慮して送信先の選択か可能となる通信システムを提供することが可能となる。